



「これまでとこれからの日本」

問題提起者：藤澤 豊さん

日時：2018年11月25日（日）13:30～16:30

会場：文京区湯島地域活動センター 会議室洋室 A

参加者：5名

内容：個々の事業所や事務所内での生産性の向上だったものが、インターネットの普及により地球規模で生産性を追及する時代になった。その結果がグローバル化で、インターネットなくしては今日のグローバル化は起きなかった。次なる生産性の向上をめざして新しい技術や考えを実現して豊かになる一握りの人たちと、便利になった社会で単純労働者として下層階級に押し込まれる大勢の人たち。この経済格差拡大プロセスが繰り返されて社会が二極化していく。明治以降欧米で実現された製造技術や管理手法をノウハウのように取り入れて、即の成果を求め続けて世界第三位の経済大国になった。即の成果が文化にまでなって、即戦力の使いやすい人材の育成が学校教育に求められた。モノ造りの工業国は歴史だが、次の社会の骨格を作り上げる人材の枯渇は将来にかけての社会問題。